

ARIBのからのお知らせ

第73回規格会議開催のお知らせ

下記のとおり第73回規格会議を開催いたします。規格会議委員の皆様のご出席をお願いいたします。

記

- 1 日時 平成21年3月18日(水) 午後3時から5時まで
- 2 場所 東海大学校友会館 望星の間(霞が関ビル33階)
東京都千代田区霞が関3-2-5

なお、議案はARIBホームページ<<http://www.arib.or.jp/>>の「お知らせ」に掲載していますのでご参照ください。

ARIBの動き

第154回技術委員会(通信分野)が開催される

第154回技術委員会(通信分野)が開催されましたので、その概要をお知らせいたします。

- 1 日時 平成21年2月25日(水)午後2時00分～3時20分まで
- 2 場所 当会第4会議室
- 3 議事概要
 - (1) 3GPP_Sの最近の動向について報告がありました。
 - (2) 3.9世代移動通信システムの導入のための特定基地局の開設に関する指針案等に対する意見募集について説明がありました。
 - (3) Sバンドを用いる国内移動体衛星通信システムの高速化に関する技術的条件について説明がありました。
 - (4) 平成21年度総務省所管予算(案)の概要について説明がありました。
 - (5) 平成21年度税制改正案の概要【情報通信関係】について説明がありました。
 - (6) 一部の形態のBS放送受信システムの電波干渉問題について説明がありました。

電磁環境委員会 平成20年度 会員向け講演会が開催される

2月20日に電磁環境委員会平成20年度会員向け講演会が主婦会館プラザエフ クラルテ（東京都千代田区六番町）において、電磁環境委員会の主催により開催されました。

電磁環境委員会は、通信・放送分野におけるマイクロ波等高周波の人体への影響に関する懸念が顕在化したため、無線設備等の電磁環境問題について調査研究及び普及・啓発活動を行い、電波の利用促進に寄与することを目的として、平成9年9月に設置されました。

最近では電波利用の拡大や多様化に伴って、電波の健康に及ぼす影響など電波の安全性についての関心が高まってきています。本委員会は、このような状況を踏まえ、医学的・工学的な観点から社会的な不安を無くすように活発に活動しています。

本委員会では、委員会で行った研究成果、最新の研究動向及びWHOの最近動向などを会員及び関係者に紹介する目的で会員向け・関係者向けに講演会を実施しています。本年度も委員会の委託研究の研究成果及び医学的な最近の研究動向、工学的な最近の研究動向などをテーマに講演会を開催いたしました。本年度の講演は、電磁環境に関する最近の動向について、医学分野での最近の研究動向から宇川教授に、工学分野での最近の研究動向から多氣教授よりご講演いただき、電磁環境委員会で実施している研究成果について（株）三菱化学安全科学研究所の関島センター長より、分かりやすくご講演頂きました。

講演当日は、120名を超える参加があり、活発な質疑が行われました。



電磁環境委員会委員長
齋藤正男東京大学
名誉教授のご挨拶



電磁環境委員会広報
部会長
尾崎友彦(株)NTTド
コモ
電波部長のご挨拶

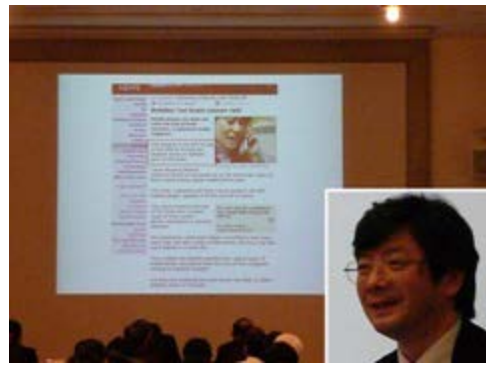


(株)三菱化学安全科学研究所先端技術研究センター
関島 勝センター長のご講演
【携帯電話電波の脳細胞に及ぼす影響について】



福島県立医科大学医学部神経内科宇川義一教授のご講演

【携帯電話のヒト中枢神経に対する影響の現状とこれから】



首都大学東京大学院理工学研究科多氣昌生教授のご講演

【電波ばく露における最近の研究動向について】

電気通信・放送行政の動き

平成21年1月「通信産業動態調査」の結果（速報）

（平成21年2月17日総務省報道発表）

- 売上高見通し指数*1は、電気通信事業及びケーブルテレビ事業は平成20年度第4四半期、平成21年度第1四半期とも「プラス」、民間放送事業は両期とも「マイナス」。
- 資金繰り見通し指数*2は、電気通信事業、民間放送事業及びケーブルテレビ事業いずれも両期とも「プラス」。
- 業況見通し指数*3は、電気通信事業者及び民間放送事業は両期とも「マイナス」、ケーブルテレビ事業は両期とも「プラス」。
- ※1売上高見通し指数(DI)＝「増加すると判断した事業者の割合(%)」－「減少すると判断した事業者の割合(%)」
- ※2資金繰り見通し指数(DI)＝「余裕があると判断した事業者の割合(%)」－「苦しいと判断した事業者の割合(%)」
- ※3業況見通し指数(DI)＝「上昇すると判断した事業者の割合(%)」－「下降すると判断した事業者の割合(%)」

総務省は、この度、平成21年1月に実施した「通信産業動態調査」（承認統計）の結果（速報）を、<http://www.soumu.go.jp/s-news/2009/pdf/090217_2_bs.pdf>のとおり取りまとめました。一部抜粋を下記に示します。

なお、平成21年3月中旬に売上高を含む確定値をインターネット（情報通信統計データベース）<<http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/>>に掲載予定です。

○通信産業動態調査について

通信産業動態調査は、通信産業（電気通信事業及び放送事業）の経営動向を機動的に把握するため、売上高、売上高見通し等についてアンケート調査（調査票送付、FAX又はインターネット入力により回答）により平成7年4月から実施。

【売上高見通し】

平成20年度第4四半期及び平成21年度第1四半期の売上高見通し指数は、

- 電気通信事業は、[14.3]、[14.3]と引き続き「プラス」（売上高が増加すると判断した事業者が多い。）。
- 民間放送事業は、[▲61.8]、[▲44.1]と「マイナス」（売上高が減少すると判断した事業者が多い。）幅が拡大。
- ケーブルテレビ事業は、[41.2]、[17.6]と第3四半期より大きく減少するものの引き続き「プラス」。

表1 売上高見通し指数

区分	平成19年度			平成20年度				平成21年度
	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
通信産業全体	18.3	1.8	3.6	1.9	▲0.9	10.0	▲10.5	▲8.1
電気通信事業	37.0	34.0	25.5	17.1	29.3	27.8	14.3	14.3
放送事業	4.8	▲20.9	▲12.3	▲7.6	▲19.1	▲1.9	▲27.5	▲23.5
民間放送事業	▲6.8	▲41.7	▲37.0	▲27.7	▲42.0	▲29.7	▲61.8	▲44.1
ケーブルテレビ事業	31.6	31.6	47.4	42.1	44.4	58.8	41.2	17.6

(参考)

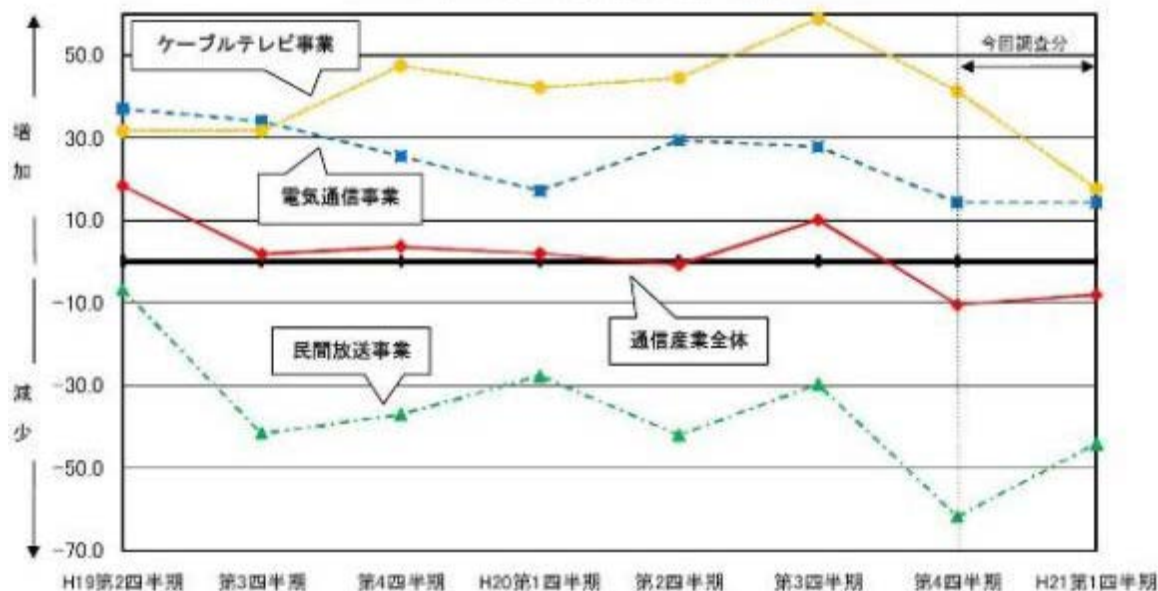
全産業	19.0	11.8	5.0	▲8.1	11.1	▲22.0	▲11.6	▲9.0
-----	------	------	-----	------	------	-------	-------	------

注1：売上高見通し指数(DI)＝「増加すると判断した事業者の割合(%)」－「減少すると判断した事業者の割合(%)」

2：平成20年度第4四半期及び平成21年度第1四半期は平成20年度第3四半期末での判断、それ以外は前四半期末での判断。

3：全産業は「法人企業景気予測調査（平成20年10－12月期調査）」（内閣府経済社会総合研究所及び財務省財務総合政策研究所）から売上高判断（大企業）につき抜粋。

図1 売上高見通し指数の推移



なお、詳細は<http://www.soumu.go.jp/s-news/2009/090217_2.html>を参照願います。

編集後記

近所の梅が見ごろになったので、これはチャンスと思い国立市の谷保天満宮の梅林に行ってきました。谷保天満宮は昌泰四年（901年）右大臣菅原道真公が筑紫太宰府に左降の折、第三子道武公は武蔵国多摩郡分倍庄栗原郷（現国立市谷保）に配流されました。



谷保天満宮



山口瞳の碑

延喜三年（902年）父君薨去の報に、道武公は思慕の情から父君の尊容を刻み鎮座したのが起りの神社です。

梅林には国立と谷保天満宮を愛した「山口瞳」の碑もあり、大変落ち着いた雰囲気のある梅林です。梅の花の開花は横浜より若干遅れているといった感じですが、ファミリー・カップル・グループが三々五々観梅に訪れていました。天満宮ですので境内には合格祈願の絵馬が沢山ありました。（澤井利和）



境内の梅林